

「高校生防災セミナー」活動報告

本校は令和4年度から2年間、国立大学法人東海国立大学機構名古屋大学と愛知県防災安全局及び愛知県教育委員会が主催する高大連携高校生防災教育推進事業「高校生防災セミナー」に参加しています。

自然災害に対する知識の理解や技術の習得などによる防災対応能力育成のため、第2学年の生徒4名が名古屋大学減災館で学ぶことができました。学校や地域の防災力向上に貢献できる防災リーダーとなるため様々な活動に取り組んできました。

令和4年	
7月	名古屋大学減災館での講義 災害の歴史や防災や減災などの4日間の講義に加え、ワークショップを行い、自然災害に対する知識や技術を習得した。また、最終日には今年度の各学校の活動計画を発表した。
8月	SS科学部「防災班」の立ち上げ SS科学部に「防災班」を立ちあげ高校生防災セミナーのメンバー4名に加え、SS科学部から1名の新メンバーを迎え入れて活動を始めた。
9月	避難訓練 雨天のためシェイクアウト訓練のみの実施となった（「あいち100万人シェイクアウト訓練」へ登録し実施）。
9月	消防士体験への参加 豊田市消防本部主催の消防士体験に参加し、火災の脅威や放水体験など、現場で働く消防士から直接話を聞くことができた。
10月	部発表会での展示発表 本校行事の部発表会で「高校生防災セミナー」のブースを設置し、本校生徒及び職員に対して防災についての広報活動を行った。活断層の実体視や防災クイズ、災害時に役立つアイテムの紹介や災害の歴史などを紹介した。
11月	避難所運営キットの作成 避難所の運営には、備品リストやマップなどの管理簿があると役立つと考え、発災時慌てることのないように準備を進めている。
12月	防災フォーラムへの参加 名古屋大学減災館で今年度の活動報告を行い、情報交換を行った。「高校生防災セミナー」一年目過程の修了証が参加生徒に授与された。

令和5年	
1月	防災意識向上集会 学年集会で、今年度の防災班の活動を報告し、校内の避難経路及び近隣地区のハザードマップを確認した。
1月	課題研究 課題研究の授業で、「防災意識向上のための効果的な方法の模索」をテーマとして研究活動を始めた。研究した内容は、中間発表や本発表において、来賓をはじめ、T Aや他校の教員を招いた発表会を行う。
1月	浸水疑似V R体験（一般社団法人中部地域づくり協会との連携） 浸水疑似体験V Rを活用した水害の疑似体験を中部地域づくり協会の方々に来ていただいて、豊田東高校の生徒と共に体験した。この様子は、中日新聞や中部地域づくり協会の記念誌にも掲載された。
2月	とよた防災フェスタへの参加運営補助（豊田市防災対策課との連携） 豊田東高校と中京大学の学生と共に小学生の防災体験の補助を行った。段ボールベットやカーテンでの仕切り作りなど、大掛かりな避難所設営の体験は、防災リーダーの育成として貴重な機会になった。
3月	名古屋大学防災サークル「轍」との連携 名古屋大学防災サークル「轍」は、広く全国の防災イベントにも参加している防災サークルで、本校の卒業生が在籍していたこともあり、オンラインで会議だけでなく、本校に来ていただいて防災情報を共有した。
4月	よんなな防災会との連携 全国47都道府県の防災会である「よんなな防災会」の学生部のオンラインミーティングに参加した。全国レベルの社会人主体の会だけに、情報量もそして防災に対する意識もレベルが高く、さまざまな情報を得ることができた。
5月	「真砂土」の研究（S S科学部） S S科学部に防災班を立ち上げ、高校生防災メンバー以外の部員を加えて活動の土台を築き、新1年生も加えて、豊田市の47災害の被害を拡大させた「真砂土」について研究を始めた。
9月	避難訓練 グラウンドでスムーズな集合点呼ができるように集合隊形を見直して実施した。発災時に迅速な避難ができるように常に改善しながらの実施を検討している。
10月	部発表会での展示発表 実体視に加え、非常食の展示や豊田市に想定される浸水V Rの合成写真の展示などを行った。また、体験コーナーとして、警視庁災害対策課の

	災害時に役立つツイート集を閲覧できるコーナーや中部地域づくり協会の浸水疑似体験のコーナーなどを設け、「観る展示」から「感じる展示」へ発展させて発表を行い、より印象に残すための仕掛けを加えた発表を行った。
12月	防災フォーラムへの参加 名古屋大学減災館でこれまでの活動報告を行い「高校生防災セミナー」の修了証が参加生徒に授与された。